エコアクション21

環境活動レポート

（第十版）

対象期間：2021年9月～2022年8月

2023年　4月28日発行

株式会社　星山建設工業

目次

１．環境経営方針 3
２．組織の概要 4
２．１　事業所名及び代表者氏名 4
２．２　所在地 4
２．３　環境管理責任者及び環境管理副責任者 4
２．４　事業内容 4
２．５　事業年度 4
２．６　官庁認可事項 5
２．７　事業規模 7
２．８　会社沿革 7
２．９　運搬車両の種類と台数 7
２．１０　産業廃棄物処理施設の概要 7
２．１１　処分場処理方式、処理工程図 8
３．　認証・登録対象範囲 9
４．　EA21 実施体制表 9
５．環境経営目標 10
６．環境活動計画 11
７．環境目標と実績 13
８．環境活動計画の取組結果の評価及び今後の取り組み 14
９．マテリアルバランス（事業活動の環境負荷の把握） 15
１０．環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無 16
１０．１　環境関連法規等の遵守状況の確認 16
１０．２　違反、訴訟等の有無 16
１１．代表者による全体の評価と見直し 17
１１．１　全体の評価 17
１１．２　見直し 17
１２．環境活動の状況 18
１２．１　産業廃棄物のﾘｻｲｸﾙ業務 18
１２．２　清掃活動 18

１．環境経営方針

＜基本理念＞

当社は、ますます深刻化する地球温暖化問題や、今後予想される地下資源の枯渇問題への対応が、人類共通の環境課題であるとの認識に立ち、事業活動における環境への負荷の低減を図るために、全社一丸となり自主的にまた積極的に環境保全活動に取組みます。

＜行動方針＞

１．環境保全活動として、具体的に次のことに取組みます。

①設備等の電力消費、自動車・重機等の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②廃棄物の排出量の削減

③受入産業廃棄物、建設産業廃棄物のリサイクル化

④水資源の効率的活用

⑤事務用品のグリーン購入

⑥解体工事における騒音・振動・粉塵防止など環境への配慮

⑦環境経営の継続的改善の誓約

２．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
この環境経営方針は全従業員に周知いたします。

制定日：２０１３年１２月２５日
改定日：２０２２年　８月　１日
株式会社　星山建設工業
代表取締役　星山　敬宣

２．組織の概要

２．１　事業所名及び代表者氏名

株式会社　星山建設工業

代表取締役　星山　敬宣

２．２　所在地

◆本社　　〒861-8002

熊本市北区弓削一丁目 16 番 34 号

TEL(096)339-5284

URL http://www.hoshiyama-kensetsu.co.jp/

◆合志営業所　〒861-1116

熊本県合志市福原 3122-3

TEL(096)248-7550　FAX(096)248-7655

◆ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ　〒861-1116

熊本県合志市福原 3113-28

TEL(096)215-5660　FAX(096)215-5661

２．３　環境管理責任者及び環境管理副責任者

環境管理責任者　　星山　知恵子

環境管理副責任者　星山　修輝

TEL(096)248-7550　FAX(096)248-7655

Email hoshiyama.k.k@mirror.ocn.ne.jp

２．４　事業内容

建設業（とび・土工工事業、土木工事業、舗装工事業、解体工事業）、

産業廃棄物処分業（中間処理）、産業廃棄物収集運搬業（積替え保管含む）

２．５　事業年度

9 月～翌年 8 月

２．６　官庁認可事項

◆建設業許可登録

県	許可年月日	有効期限	許可番号	建設業の種類
熊本県	R3.6.20	R8.6.19	熊本県知事（特-3）第 10876 号	とび・土工工事業、土木工事業、舗装工事業、解体工事業

◆産業廃棄物収集運搬業許可

県	許可年月日	有効期限	許可番号	取扱産業廃棄物の種類
熊本県	R2.4.13	R7.4.12	第 4311020722 号	紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類
福岡県	R3.8.30	R8.8.29	第 4000020722 号	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類
佐賀県	R2.11.8	R7.11.7	第 4101020722 号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、鉱さい、がれき類及びばいじん並びに廃プラスチック類、金属くず、及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
長崎県	R4.2.23	R9.2.22	第 4200020722 号	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
大分県	R4.11.6	R9.11.5	第 4407020722 号	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、鉱さい、がれき類、ばいじん
宮崎県	R5.6.23	R10.6.22	第 4504020722 号	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
鹿児島県	R1.6.7	R6.6.6	第 4601020722 号	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、鉱さい、ばいじん、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ

◆産業廃棄物収集運搬業許可(積替え及び保管行為を含む)

県	許可年月日	有効期限	許可番号	取扱産業廃棄物
熊本県	R2.9.11	R7.4.12	第 4311020722 号	①金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物である廃蛍光ランプに限り、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。） ②紙くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（これらのうち廃石膏ボードに限り、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

◆特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

県	許可年月日	有効期限	許可番号	取扱産業廃棄物
熊本県	R3.9.2	R8.8.21	第 4351020722 号	廃石綿等

◆産業廃棄物処分業許可

県	許可年月日	有効期限	許可番号	区分	処理方式	取扱産業廃棄物の種類
熊本県	R1.11.18	R6.10.31	第 4321020722 号	中間処理	破砕・分級	がれき類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（以上、廃石膏、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
					破砕 （移動式）	
					破砕	木くず（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
					破砕	紙くず、がれき類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（以上、廃石膏ボードに限る。）

２．７　事業規模

◆資本金　　5,000 万円

◆年商　　63,280 万円（2021 年度実績）

◆従業員数　　21 名（2022 年 4 月時点）

２．８　会社沿革

昭和 61 年 3 月　有限会社　星山建設工業設立

平成 16 年 6 月　株式会社に組織変更

２．９　運搬車両の種類と台数

車輌の種類	登録 No.	最大積載量（Kg）
10t　ダンプトラック	熊本　１１　ゆ　３１－５４	8,250
10t　ダンプトラック	熊本　１１　ゆ　３８－３３	9,250
10t　ダンプトラック	熊本１００は　２３－２９	8,500
7t　ユニック	熊本１００は　５８－４８	6,300
4t　ダンプトラック	熊本　１１　た　５４－７６	3,750
4t　ダンプトラック	熊本１００す　１６－０８	3,350
4t　ダンプトラック	熊本１００さ　１８－１７	3,400
4t　ダンプトラック	熊本１００さ　６８－７２	3,600
4t　ダンプトラック	熊本１００す　２５－１５	3,300
4t　ダンプトラック	熊本１００さ　９９－７８	3,400
4t　ダンプトラック	熊本１００す　８９－７４	3,400
4t　ダンプトラック	熊本１００せ　２６－３７	3,300
4t　ダンプトラック	熊本１００せ　７３―３４	3,350
4t　ユニック	熊本１００さ　９０－４３	2,650
4t　脱着車	熊本１００す　６１－９４	3,750
4t　脱着車	熊本１００せ　８８－７７	3,900
4t　脱着車	熊本１００せ　９８－５５	3,800
2t　ダンプトラック	熊本４００に　８０－８２	2,000
2t　ダンプトラック	熊本４００そ　１１－４４	2,000
2t　ダンプトラック	熊本４００と　７９－０９	2,000

２．１０　産業廃棄物処理施設の概要

種類	中間処理	処理能力	設置場所
破砕・分級	コンクリート破砕機	438.4t/日（8h）	熊本県合志市福原字飯高 3113 番地 28 ほか
破砕（移動式）	コンクリート破砕機	680t/日(8h)	熊本県合志市福原字飯高 3122 番地 3(駐機場)
破砕	木くず破砕機	64t/日(8h)	熊本県合志市福原字飯高 3113 番地 28 ほか
破砕	ボード破砕機	4.59t/日(8h)	熊本県合志市福原字飯高 3113 番地 28 ほか

２．１１　処分場処理方式、処理工程図

搬出事業者・収集運搬会社

↓

株式会社　星山建設工業
リサイクルセンター

↓

敷地内一時保管

コンクリートがら

小割・分別

↓

破砕・分級

↓

スクリーン選別機

↓

再生路盤材として売却

木くず

↓

破砕

↓

処理後一時保管場所

↓

有償売却
（木質チップ燃料材）

廃石膏ボード

↓

破砕

↓

スクリーン選別機

↓

処理後一時保管場所

↓

有償売却

紙（火力発電材）　　石灰（再生材石灰中性固化材）

3.　認証・登録対象範囲

全組織全事業対象とする。

登録№：0010245

認証・登録日：2014 年 9 月 29 日

4.　EA21 実施体制表

EA21 実施体制表

代表者	代表取締役 星山　敬宣
環境管理責任者	専務取締役 星山　知恵子
環境管理副責任者	常務取締役 星山　修輝

EA21 環境管理委員会

本社･営業所	星山	リサイクルセンター	小林	工事現場	本田

電力使用量	星山　修輝 西藤
ガソリン･軽油 使用量	星山　修輝 西藤
一般廃棄物量	星山　修輝 西藤
水使用量	坂梨 星山
グリーン購入率	西藤 星山 坂梨
社会貢献	星山 星山

電力使用量	坂梨 星山
軽油 使用量	小林 猪原
水使用量	小林 猪原
社会貢献	小林 猪原

軽油 使用量	本田

５．環境経営目標

３か年環境目標（Ｒ２～Ｒ４年度）

（事業年度：９月～翌年８月）

環境目標	単位	平成 31 年度（実績･基準）	令和 2 年度（目　標）	令和 3 年度（目　標）	令和 4 年度（目　標）
①　電力使用量の削減	kWh	26,383	26,119（１％削減）	26,119（１％削減）	26,119（１％削減）
②　ガソリン使用量の削減	L	12,802	12,674（１％削減）	12,674（１％削減）	12,674,（１％削減）
③　軽油使用量の削減	L	217,346	215,173（１％削減）	215,173（１％削減）	215,173（１％削減）
④　(運搬量+処分量) １ｔ当りのＣＯ２排出量削減(①～④による)	kg-CO2 / t	8.02	7.94（１％削減）	7.94（１％削減）	7.94（１％削減）
⑤　受託した産業廃棄物のリサイクル率 100%推進	%	100	100	100	100
⑥　建設リサイクル産業廃棄物のリサイクル率 100%推進	%	100	100	100	100
⑦　一般廃棄物(燃えるごみ)の排出量削減	kg	163	161（１％削減）	161（１％削減）	161（１％削減）
⑧　水の使用量の削減	m3	1,308	1,295（１％削減）	1.295（１％削減）	1.295（１％削減）
⑨　グリーン購入率の向上（環境活動の実施率）	%	100	100	100	100
⑩　社会貢献・清掃活動実施	回	2	2	2	2
(参考)ＣＯ２排出量の実績	kg-CO2	600,215	－	－	－
(参考)<運搬量＋処分量>の実績	t	74,823	－	－	－

＊①電力の二酸化炭素排出係数は九州電力 2019 年度調整後排出係数：0.371kg-CO2/kWh を使用。

＊⑤に関連するＣＯ２排出量の計算　　（４捨５入）

ＣＯ２排出量　＝

①　×0.371＋　②×2.32　＋③×2.58

＊⑨に関する目標値（%）について

目標値は p11 の環境活動計画 4 項目の実施率を示す。例：100%＝すべての項目が○

＊令和 5 年度以降の環境目標は、令和 4 年度の実績を考慮して決定する。

６．環境活動計画

環境活動計画と実施状況評価
(環境目標を達成するための具体的活動・手段)

◆本社事務所　営業所　　環境活動計画と実施状況評価

（評価：○できた　△不足　×できなかった）

環境活動項目	担当者	具体的活動	評価
1.電力使用量の削減	星山修輝 西藤	・不使用時・昼休みの消灯	○
		・エアコンの設定温度(夏 28℃、冬 21℃)	○
		・エアコンフィルターの清掃 （７～９月、11～３月、月１回)	○
		・OA 機器の退社時電源オフ	○
2.ガソリン使用量の削減 3.軽油使用量の削減	星山修輝 西藤	・エコドライブ実践	○
		・タイヤ空気圧チェック（月１回）	○
4.一般廃棄物(燃えるごみ) 排出量の削減	坂梨 星山	・廃棄物分別の徹底	○
		・分別箱の設置	○
		・両面コピー・裏紙使用の推進	○
		・重量把握し、記録	○
5.水の使用量の削減	坂梨 星山知恵子	・節水表示	△
		・水道の出しっ放し禁止	△
6.グリーン購入率の向上	西藤 星山知恵子 坂梨	・エコマーク品・グリーンマーク品の優先購入	○
		・再生紙購入推進	○
		・詰め替え可能製品の購入推進	○
		・実績を記録（アスクルの購入履歴）の確認	○
7. 社会貢献・ 清掃活動実施	星山修輝 星山知恵子	・ロードボランティア実施	○
		・会社周辺道路清掃	○

◆リサイクルセンター　　環境活動計画と実施状況評価

（評価：○できた　△不足　×できなかった）

項目	担当者	具体的活動	評価
1.電力使用量の削減 （事務室） （処分場）	坂梨 星山	・不使用時・昼休みの消灯	○
		・エアコンの設定温度(夏 28℃、冬 21℃)	○
		・エアコンフィルターの清掃 （7～9月、11～3月、月1回)	○
		・OA 機器の退社時電源オフ	○
		・計量システム・遠隔監視システムの退社時電源オフ	○
2.軽油使用量の削減	小林 猪原	・エコドライブ実践	○
		・タイヤ空気圧チェック（月1回）	○
		・重機の不使用時電源オフ	○
		・石膏ボード破砕機の効率的運転	○
		・木くず破砕機の効率的運転	○
		・コンクリート破砕機の効率的運転	○
3.水の使用量の削減	小林 猪原	・節水表示	△
		・散水時の出しっ放し禁止	△
		・効果的散水の工夫	△
4.産業廃棄物の リサイクル	小林 猪原	・産業廃棄物の分別の徹底	○
		・中間処理設備の点検の実施	○
5. 社会貢献・ 清掃活動実施	小林 猪原	・ロードボランティア実施	○
		・会社周辺道路清掃	○

◆工事現場　　環境活動計画と実施状況評価

（評価：○できた　△不足　×できなかった）

項目	担当者	具体的活動	評価
1.ガソリン使用量の削減	本田	・エコドライブ実践	○
		・タイヤ空気圧チェック（月1回）	○
2.軽油使用量の削減	本田	・エコドライブ実践	○
		・タイヤ空気圧チェック（月1回）	○
		・重機の不使用時電源オフ	○
		・重機の効率的運転の工夫	○
３. 建設リサイクル産業廃棄物のリサイクル 100%	本田	・分別の徹底	○
		・リサイクルの徹底	○
４. 社会貢献・ 清掃活動実施	本田	・ロードボランティア実施	○
		・会社周辺道路清掃	○

７．環境目標と実績

R３年度環境目標の実績　（R3 年９月～R4 年８月）

環 境 目 標　（項目）	単位	平成 31 年度 H30 年９月 ～H31 年８月 (実績・基準)	令和３年度 R3 年９月 ～R4 年８月 （目　標）	令和３年度 R3 年９月 ～R4 年８月 （実　績）	令和３年度 R3 年９月 ～R4 年８月 目標達成率
①　電力使用量の削減	ｋWh	26,383	26,119 （１％削減）	26,475	98%
②　ガソリン使用量の削減	L	12,802	12,674 （１％削減）	14,607	86%
③　軽油使用量の削減	L	217,346	215,173 （１％削減）	205,656	104%
④　(運搬量+処分量)１ｔ当りのＣＯ２排出量削減(①+②+③)	Kg-CO2/ｔ	8.02	7.94 （１％削減）	9.22	87%
⑤　受託した産業廃棄物のリサイクル率 100%維持	%	100	100	100	100%
⑥　建設リサイクル産業廃棄物のリサイクル率 100%維持	%	100	100	100	100%
⑦　一般廃棄物量(燃えるごみ)の削減	Kg	163	161 （１％削減）	159	101%
⑧　水の使用量の削減	m3	1,308	1,295 （１％削減）	1,663	77%
⑨　グリーン購入率の向上	%	100	100	100	100%
⑩　社会貢献・清掃活動実施	回	2	2	2	100%
(参考)ＣＯ２排出量の実績	kg-CO2	600,215	－	574,303	－
(参考)<運搬量＋処分量>の実績	t	74,823	－	62,267	－

＊①電力の二酸化炭素排出係数は九州電力 2019 年度調整後排出係数：0.371kg-CO2/kWh を使用。

＊④に関連するＣＯ２排出量の計算　（４捨５入）

ＣＯ２排出量　＝

①×0.371　＋②×2.32　＋③×2.58

＊灯油、ＬＰＧは使用量が少ない(0.5%以下)為、目標に掲げず、日常活動で管理していく。

８．環境活動計画の取組結果の評価及び今後の取り組み

（期間：令和３年９月　～　令和４年８月）

No.	環境目標	達成率	原単位での達成率	評価及び今後の取り組み
①	電力使用量の削減	98%	－	今後も不要な電力の使用や消灯忘れのチェック等を行い、省エネの維持、発展に努めていく。
②	ガソリン使用量の削減	86%	88%	エコドライブを徹底し、1 台当たりのガソリン使用量を軽減させることを課題とする。
③	軽油使用量の削減	104%	106%	前回同様、不必要時にエンジンを切る等の工夫を行い、軽油使用量を軽減させることを目的とする。
④	(運搬量+処分量)１ｔ当りのＣＯ２排出量削減	87%	89%	今後も継続して環境への負荷を抑え、CO2 排出量の削減に努めていく。
⑤	受託した産業廃棄物のリサイクル率 100%維持	100%	－	今後もリサイクル率 100%維持に努める。
⑥	建設リサイクル産業廃棄物のリサイクル率 100%維持	100%	－	今後もリサイクル率 100%維持に努める。
⑦	一般廃棄物量(燃えるごみ)の削減	101%	－	一般廃棄物分別の徹底に努める。 計量器を使用して廃棄物量を計量・記録することで実績把握済。
⑧	水の使用量の削減	77%	－	今後も節水を励行し、水使用量の削減に努める。
⑨	グリーン購入率の向上	100%	－	グリーンマークの製品を積極的に購入している。 購入した数量・履歴を記録し、今後も継続する。
⑩	社会貢献・清掃活動実施	100%	－	年一度の地域清掃活動への参加に加え、会社周辺道路の清掃を社員一丸となって行い、環境美化への活動をより一層行っていく。

※原単位とは基準年度と対象年度の売り上げを比較した物を指し、業務量の差から生じる資源使用量と達成率の相違を是正する目安とする。

９．マテリアルバランス（事業活動の環境負荷の把握）

当社は、環境保全活動を効果あるものにするために建築物解体時の産業廃棄物を製品へﾘｻｲｸﾙして、環境負荷の削減に努めています。

令和３年９月～令和４年８月の実績

当社の事業活動

INPUT

資源

購入電力	２６，４７５kwh
ガソリン	１４，６０７L
軽油	２０５，６５６L
水	１，６６３㎥

中間処理量

ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ	４０，０６４t
ｱｽﾌｧﾙﾄｶﾞﾗ	０t
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	１０６t
木くず	７５t

OUTPUT

リサイクル

再生材	４０，０６４t
木チップ	７５t
土壌改良材	１０６t

・自社処分量　４０，１７０．３０t
・他社処分量　６，８９５．７９t（受託した処分量）

・自社収集運搬量　１３，７２１．５１t
・他社収集運搬量　６，８９５．７９t（受託した収集運搬量）
(参考)<運搬量＋処分量>の実績　＝　２０，６１７．３０t

※CO2 排出量の算出方法
電力使用量×０．３７１
＋ガソリン使用量×２．３２
＋軽油使用量×２．５８

CO2 の排出量※
５７４，３０３kg-CO2

１０．環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

１０．１　環境関連法規等の遵守状況の確認

廃棄物処理法、建設リサイクル法、騒音・振動規制法、大気汚染防止法、
オフロード法、フロン排出抑制法、消防法をそれぞれ確認したところ、
特に違反等はありませんでした。

１０．２　違反、訴訟等の有無

違反及び訴訟はありませんでした。

１１．代表者による全体の評価と見直し

１１．１　全体の評価

・目標の達成状況、計画の実施状況及を見て、当社の基本理念が正しく運用されている。
今後も社員一丸となって努力し、目標達成に向かって頑張っていきたい。

・EA２１活動をさらに向上すべく、社全体での現状での問題点を洗出し、改善策をだし、実行して、エコ活動に努める。

１１．２　見直し

・昼休みや不用時の消灯の徹底を行い、電力消費の削減を継続する。
・引き続き定時確認による節電を行い、無駄な電力消費を無くす。
・効率的な工事計画・機械運用を行い、燃料削減を目指す。
・蛇口の開け閉めや散水時の水量の調整等を行い、水使用量を抑える。
・次回更新審査に向け、ｴｺｱｸｼｮﾝ21活動の計画を練り直していく。
・体制についての見直しの結果、特に変更の必要はありませんでした。

令和5年4月28日　代表取締役　星山　敬宣

１２．環境活動の状況

１２．１　産業廃棄物のﾘｻｲｸﾙ業務

当社では、解体工事で発生した産業廃棄物（ｺﾝｸﾘｰﾄ・木屑・廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）を自社ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰにて中間処理を行い、ﾘｻｲｸﾙ製品として再資源化を行っております。

１２．２　清掃活動

会社周辺道路の清掃活動の様子。